

他の部会と情報共有をはかる意見

資料2

【子育て・教育部会に関連する他部会での意見】

情報共有する部会	発言内容	答申イメージ	共有先の部会の状況
健康・医療・福祉部会より	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校等で障害者等と接する機会をより充実させてはどうか。障害のある子とない子が、日常的に接することでお互いのことを理解できる。 ・障害者等に年に何回か接するだけだと「特別」な体験に感じる。「多様」という言葉はまだ差を感じているから出てくる言葉。日常的に接する環境を「ふつう」と感じるようになると良い。 ・障害のある人とない人が自然に交流できる場があると良い。 	区民は、子どもの頃からさまざまな機会を通じて、障害者等に接し、相互理解が深まっている。	同様の発言あり
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の体育だけが身体を動かす機会という子どももいるので、運動の重要性を子どもに理解してもらい、運動習慣を身につけてもらう取り組みが必要だと思う。 	子どもたちが、運動の大切さを理解し、日常的に身体を動かす習慣が身につけている。	特に発言なし
	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが楽しく遊べる場所を整備し、体育館の運動プログラムの定員を増やしてほしい。 	子どもが楽しく遊べる環境や機会が充実している。	同様の発言あり
	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前の健康や障害について、正しい知識を早く親に伝えた方が良い。子どもにとってより良い選択をできるような支援が必要だと思う。 ・発達障害は早期発見と家族の理解が重要である。 	区民は、子どもの健康や障害についての正しい知識をもっている。子どもはそれぞれの特性に合った支援を受けている。	同様の発言あり

【他部会に関連する子育て・教育部会の意見】

部会	発言内容	答申イメージ	共有先の部会の状況
自治・共生・活力部会へ	<ul style="list-style-type: none"> ・人の入れ替りが激しい中野区では、全世代で、地域の記憶を共有していく仕掛けが大切である。 	人やまちが移り変わっても、地域の記憶が共有・継承されている。	同様の発言なし
	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイバーシティの観点から地域を活性化していく必要がある。大学生や区で増加している外国人と連携することが、新しい価値を生み出し、地域を活性化することにつながる。そのためには、中核となる「地域を活性化するキーパーソン」を区が把握し、連携することが必要である。 	大学生や外国人などの新たなプレイヤー同士がつながることで、地域に新しい価値が生まれている。	同様の発言なし
	<ul style="list-style-type: none"> ・活動できる場があれば、自分たちのやれることをやろうという区民はいる。区の支援を強化してほしい。 ・母親が地域活動をしたくても、子どもがいるとできない場合があるので、例えば、活動時間中に一時保育が利用できるような支援が必要である。 	区民が、関心のある活動に気軽に参加できる場が整っている。	同様の発言あり